

FENICE SACAY CALENDAR 2021

劇場に歓喜がこだまする。

フェニーチェ堺

FENICE SACAY

大ホール JAZZ 扶間美帆 unit 日本ツアー2021 9月17日(金) 開演19:00	小ホール CLASSIC 川口成彦 フィッシュ・アライズ シネマ2021 新編 9月29日(木) 開演19:00	大ホール CLASSIC 佐渡裕指揮 シネマ・アライズ・オーケストラ シネマ2021 新編 10月2日(土) 開演15:00	小ホール CLASSIC 川口成彦 フィッシュ・アライズ シネマ2021 新編 10月2日(土) 開演15:00	大ホール MUSICAL ジャック・ザ・ リッパー 10月8日(金) 開演14:00	大ホール MUSICAL ジャック・ザ・ リッパー 10月9日(土) 開演12:30 1開演17:00
大ホール MUSICAL ジャック・ザ・ リッパー 10月10日(日) 開演12:30	大ホール CLASSIC ディズニー・オン・ クラシック 10月16日(土) 開演18:00	小ホール 伝統芸能 横井千寿子 舞臺・新編 ワカデマリカル フェニーチェ文楽 10月19日(火) 開演14:00 1開演18:00	大ホール OPERA NISSAY OPERA 2021 オケラ 「ラ・エーメ」 10月23日(土) 開演14:00	小ホール 伝統芸能 桂かい枝 独演会 10月24日(日) 開演15:00	文化交楽室 CLASSIC 音楽のあるひとと Vol.5 11月17日(木) 開演14:00
大ホール CLASSIC ミンヘン・フィル ハーモニ管弦楽団 11月26日(金) 中止	小ホール 伝統芸能 横井千寿子 独演会 11月26日(金) 開演15:00	小ホール 伝統芸能 三遊亭兼好 独演会 11月28日(日) 開演14:00	小ホール 伝統芸能 春風亭一之輔 独演会 11月29日(月) 開演15:00	大ホール OPERA X ORCHESTRA II Teatro L'alba Lamore フィッシュ・アライズ シネマ2021 新編 12月19日(日) 開演14:00	小ホール CLASSIC 川口成彦 フィッシュ・アライズ シネマ2021 新編 12月26日(日) 開演15:00

最新の公演情報はフェニーチェ堺HPをご覧ください。都合により、公演内容が変更になる場合がございます。

チケット購入先

W WEB購入 (詳細は下記をご覧ください) ローソンチケット(LiCode) https://l-tike.com	S 電話・窓口購入 (詳細は下記をご覧ください) e+ (+イープラス) http://eplus.jp	T チケットぴあ(PiCode) 0570-02-9999 CNフレックス 0570-08-9999 ★ 未就学児 入場不可
---	--	--

チケット購入方法

※ご購入いただいたチケットは公演中止を除き、変更・キャンセルはできません。※紛失・破損等がある場合においても再発行はいたしません。※WEB購入・電話予約での発券・配送には所定の手数料がかかります。

WEB購入 6:00~翌2:00	チケット購入ページ sacayメイトへの登録が必要です sacayメイト 検索	セブンイレブン ファミリマート 配送 指定会場引取 ※配送は日本郵便のゆうパックでお届けいたします。
電話予約 10:00~18:00 (催しの関係で変更)	堺市文化振興財団チケットセンター 0570-08-0089 (チケット予約専用) ※一部携帯・CATV接続電話・伊電話はご利用いただけません。	セブンイレブン ファミリマート 配送



フェニーチェ堺

堺市堺区橋筋町2-1-1
南海高野線「堺東」駅から徒歩8分



©Takashi Ejima

スペシャル・インタビュー

指揮者 佐渡裕
シエナ・ウインド・オーケストラと
挑む“吹奏楽の最高峰”

2021
vol.15



フェニーチェ堺 堺市立柁文化会館 堺市立東文化会館 アルテベル	窓口 直接購入 9:00~20:00 一般発売の要請より 残席がある場合のみ販売
---	--

TEL: 072-223-1000 FAX: 072-223-1005
堺市堺区橋筋町2-1-1 南海高野線「堺東」駅徒歩8分 休館日: 第1・第3月曜(祝日の場合は開館)および年末年始
TEL: 072-296-0015 FAX: 072-291-7083
堺市堺区山崎山1-2-2 泉北高速鉄道「岸・美木町」駅 休館日: 水曜および年末年始
TEL: 072-230-0134 FAX: 072-230-0138
堺市堺区北野田1084-136 南海高野線「北野田」駅直結 休館日: 水曜(祝日の場合は開館)および年末年始
TEL: 072-383-8888 FAX: 072-383-0070
堺市東区東山167-1 南海バス「美原駅前」バス停前 休館日: 第2・第4月曜(祝日の場合は開館)および年末年始

- 2 目次
- 3 ペンと劇場
- 4-5 オペラ「ラ・ボエーム」見どころ解説
- 6 シエナ・ウィンド・オーケストラ 《ブラスの祭典2021》
指揮者 佐渡裕 インタビュー
- 7 公演情報
- 8 川口成彦「古楽なハナシ」
- 9-10 公演情報
- 11 文化講座ほか
- 12-13 地域のイベント情報ほか
- 14-15 ふれる堺

『表紙について』

表紙写真 佐渡裕（シエナ・ウィンド・オーケストラ首席指揮者）

10月2日(土)フェニーチェ堺大ホールで行われる、シエナ・ウィンド・オーケストラ《ブラスの祭典2021》の指揮者を務める佐渡裕さん。誰よりも音楽を愛する佐渡さんの原点とも言える吹奏楽。中学で吹奏楽部に入りフルートを担当、指揮者としてのスタートも吹奏楽で、シエナの首席指揮者を引き受けたきっかけの1つも日本のレベルの高い吹奏楽文化を再認識したからだそうです。「吹奏楽は日本人の一番身近にあるオーケストラ。かつて楽器を演奏していた人、現役の奏者、そしてこれから楽器を始める人、その皆さんと僕とシエナがつながっており、僕たちが楽器を演奏できることの喜びを目標させ、誇らしいと思ってもらえるようにしたい」。吹奏楽が盛んな日本で、プロが演奏するとこんな音楽になる!という思いのもと、音楽の喜びをシエナで味わってほしいとおっしゃいます。シエナの指揮者になった当時は36歳の佐渡さんも、なんと今年還暦を迎えました。その間ヨーロッパを始め世界各国で指揮をし、そこで得たものをシエナに伝え、シエナもその期待に応えてきました。シエナの活躍は目覚ましく日本はもとより海外にも多くのファンがいます。首席指揮者と団員の約25年間の絆から生まれる貴重なプロの吹奏楽の演奏を、フェニーチェ堺で是非お楽しみください。

(詳細はP6,7)

佐渡裕さんとシエナ・ウィンド・オーケストラのお話はこちらから▶

[YouTube] <<Siena Tube>>

Vol.19 佐渡裕～シエナ団員 突撃!インタビュー特別編～



[佐渡裕 プロフィール] 1961年生まれ。京都市立芸術大学卒業。パーンスタイン、小澤征爾に師事。毎年ヨーロッパの一流オーケストラへ多数客演を重なる。最も注目されている日本人指揮者。2015年9月よりオーストリア、ウィンの名門で110年以上の歴史を持つトーンキムンストラ管弦楽団音楽監督に就任した。国内では兵庫県立芸術文化センター芸術監督、シエナ・ウィンド・オーケストラ首席指揮者を務める。


 ペンと劇場〈番外編〉

 書評家
 江南亜美子

楽譜にかかれたことを完璧に演奏しても、「音楽」にはならない。音楽に曲を通わせることができる、技術的ななかを求めて——。表現の神髄にふれるために、ひとはさまざまに葛藤してきた。演奏家や、しばしば求道者に喩えられるのはそうした理由だ。努力と才能に加えて、ほとんど曲芸のような技巧を有しながらさらに高みを追求しつづける貪欲さを持つ人間だけが、真の芸術家と呼ばれる。

小説はときに、彼らを格好の題材にしてきた。たとえば、奥泉光『シューマンの指』は、将来を囑望された若き天才ピアニストである永嶺修人の謎めいた半生を描く。

「私」が国際コンクールの優勝経験もある修人と知り合ったのは高校時代。シューマン狂である彼とはウマがあい、べつ同級生である龍内と三人で音楽談義や読譜を熱心に行なうようになるが、ある夜、恐ろしい事件が起きる。学校の音楽室で修人の弾くシューマンの幻想曲を盗み聴いたあと、女子学生が殺害されるのだ。(僕はね、自分の指が駄目になるんじゃないかと思うんだ)。シューマンの晩年に重ねて修人がたむわれに語ったことは、のちに現実のものとなる。修人は指を切断。その事件から30年後、彼がシューマンの協奏曲を弾くのを見た、龍内は「私」に報告する——。

殺人事件と修人は関係が? 本作は「私」の手記に基づいてサスペンスと迂回した旋律を奏でながら、読者の予想を超える驚愕のラストへ。音楽に心身を捧げた男の、狂気とガラス細工めいた愛をスリリングに描き出していく。

かなり印象的なシューマン論が登場する小説は、村上春樹もある『一人称単数』がそれだ。「僕は」はサントリーホールでの演奏会で、知人ある女性を紹介される。(彼女は、これまでで知り合った中でもっとも醜い女性だった)。普通ではない音楽家とその奥にある個性と聡明さにひかれ、

シューマンの「謝肉祭」ばかりを聴く同好会を作るまでになるのだが、彼女はある日シューマンの分業症的な傾向にからめてこう言う。(私たちは聴いても、多かれ少なかれ仮面をかぶって生きている。まったく仮面をぶら下るにこの機軸な世界を生きていくことはとてもできないから)。

個人の幸福などものに足りないと思わせるほど、素晴らしい音楽を残したシューマン。神に選ばれたことの徳徳と苦悩についての考察がさらにスケッチされる一編だ。

天才の才能の崩壊を、残酷にほど克明に臨場感を持って描くのはジャン・エシュノース『ラヴェル』である。評伝や音楽家の証言をもとに、晩年のラヴェルを小説の主人公に据えた作品で、演奏旅行にバジャマやネクタイを何十と揃えていく神経症的なさまと、譜面に表れる演奏者の自由を制限する神聖な複雑さが、二重写しになっていく。それは傑作である「ホレロ」に極まる。音楽のように書くことが目指された本書。読めば、現在録が多用される効果によるリズムと旋律が、ラヴェルの楽曲におとらず、読者の心をつかんで離さないだろう。

尋常ならざる芸術家の執念がテーマの小説はこれぐらい、最後にひとつ心温まる一冊を、「バリ左岸のピアノ工房」は、バリのカルセラタンノの一角にある工房に足を踏み入れた著者が、奥に隠されるように置かれた無数の中古ピアノのなから運命的な出会いの一台を購入し、音楽の喜びを取り戻していくフィクションだ。職人に導かれ、著者は手作りの世界最高峰のピアノ工場を見学したりもするのだが、新撰ながら世の評価をほしまにさせるその工場こそ、ファツィオリである。ちなみにいま日本に2台しかないファツィオリ最大のコンサートグランドピアノF308のうち1台は、ここフェニーチェ堺にある。

書物でピアノやその楽曲の背景を知れば、その音色がさらに豊かに心身を包み込むことは讀みあいた。



『シューマンの指』
奥泉光
(講談社文庫)



『ラヴェル』
エシュノース
(みすず書房)



『一人称単数』
村上春樹から「謝肉祭」
(文藝春秋)



『バリ左岸のピアノ工房』
カーハート
(新潮社文庫)

江南亜美子(あみみこ) 書評家・京都市立芸術大学専任講師、新編日本文学と翻訳文芸のレビュー編集、共著した『世界の6大文学賞』(立東舎)など、21年4月から朝日新聞書評委員、現任在任。

巻頭特集

今秋上演！指揮者 園田隆一郎と演出家 伊香修吾による オペラ『ラ・ボエーム』見どころ解説

プッチーニ作曲のオペラ『ラ・ボエーム』。1830年代パリの屋根裏部屋に住む若者たちの恋や夢、友情を描く甘く切ない青春物語は、1896年の初演から100年以上も世界中で愛され、上演され続けてきました。この不朽の名作を新たな視点でとらえ直し、オペラが初めての方でも鑑賞しやすい日本語上演・日本語字幕付きでお届けするフェニーチェ劇場公演について、指揮者・園田隆一郎氏と演出家・伊香修吾氏にお話を聞きました。



指揮 園田隆一郎



演出 伊香修吾



撮影：三枝成浩／2021年6月 日生劇場公演

——好評を博した2017年の上演を、2021年版として新たな視点から再構築されたとのことですが、演出のポイントはどこなのでしょうか？

伊香：2017年版の演出は、ミミの死後、残された5人のボヘミアンたちが過ぎ去った日々を回想する、というコンセプトに基づくものでした。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、多くの出演者を伴う2017年版をそのまま再演することは難しくなりましたが、単に舞台から出演者を引き算するだけの再演にはたくない、という強い思いを関係者全員が共有しながら、今回の上演に取り組んできました。2021年版の演出は、4年前とは正反対とも言える視点に立つものです。

——今回は日本語上演・日本語字幕付きでオペラ初心者に優しい公演になりそうですが、原語(イタリア語)ではないことで指揮に違いはありますか？

園田：確かに同じ音楽でも歌詞が日本語なのとイタリア語なのでは作り方が微妙に変わってきます。歌手が発する日本語をフォローしつつも、指揮者としては常にプッチーニが描いたイタリア的なフレージングを意識しなければいけません。頭の中で常に日本語とイタリア語が同時に鳴っている状態ですが(笑)、楽しいです。宮本益光さんがこのプロダクションのために作った日本語訳詞が素晴らしいので、もうすでに何度も『ラ・ボエーム』を聴いている方も楽しんでいただけたと思います。

——『ラ・ボエーム』はオペラを代表する名作のひとつ。尽きぬ魅力がありますが、おふたりが考える見どころ/聴きどころを教えてください。

園田：プッチーニの素晴らしい音楽によって「喜怒哀楽」のすべてが表されている事だと思います。貧しいながらも明るく懸命に生きる6人の等身大の姿は、初演から125年経った今でも色あせる事ありません。2組のカップルはもちろんですが、恋人のいない音楽家ショナールと哲学者コッリーネのキャラクターや音楽もとても魅力的で大好きです。現在青春真っ只中の皆さんにも、かつて青春を謳歌した皆さんにも笑って泣いていただけるオペラです。

伊香：プッチーニの『ラ・ボエーム』はオペラ史上に燦然と輝く傑作で、地味すぎる部分がないという点では、ずつと見どころ、聴きどころの連続であると言っても過言ではありません。また、演出にかかわることですが、今回の公演では、このドラマを眺める「視点の違い」がひとつの見どころであると言えるかもしれません。見慣れたはずの景色は視点が変われば違った見え方をしますし、聴き慣れたはずの音楽もまた違った意味をはらんで響くのではないのでしょうか。

——公演を楽しみにされているお客様にメッセージをお願いします。

園田：個性豊かな実力派キャストの歌声と演技、プッチーニのスコアから飛び出す大阪フィルの美しい音楽が、若い芸術家たちの心とバリの街並みを生き生きと描き出します。フェニーチェ劇場で皆さんにお目にかけられるのを楽しみにしています！

伊香：多くの『ラ・ボエーム』とはひと味もふた味も違う今回の上演。おや、とお感じになる点もあろうかと思いますが、その驚きも含め、新しい切り口からのオペラをお楽しみいただければ幸いです。

OPERA 大ホール NISSAY OPERA 2021 オペラ「ラ・ボエーム」 10月23日(土) 開演14:00

ジャコモ・プッチーニ作曲

全4幕 宮本益光訳詞による日本語上演・日本語字幕付き

指揮：園田隆一郎 演出：伊香修吾 音楽監：大阪フィルハーモニー交響楽団

ミミ：迫田美帆 ロルフ：岸浪愛学 ムゼッタ：富平安希子 マルチッポ：池内 馨 他

好評発売中 S 席11,000円 A 席8,000円 B 席6,000円

主催：フェニーチェ・公益財団法人ニッセイ文化振興財団(日生劇場) 企画・制作：公益財団法人ニッセイ文化振興財団(日生劇場)

助成：文化庁文化芸術振興補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会 協賛：日生放送株式会社

W S U 195-123 51589 516N *



design：秋葉一彰 illustration：生野拓也

これを見ると10月23日の本編がもっと楽しめる！
NISSAY OPERA「ラ・ボエーム」P!講座
「そろそろオペラ、どうですか？」

好評発売中
各回3,000円
自由席(整理番号付き)
主催：フェニーチェ

W S *

文化講座
オペラシリーズ
大スタジオ

歌と演奏
あり

Vol.2 名作のヒロインはなぜ偉い？

9月3日(金) 開演14:00

プッチーニ作曲のオペラにはたくさんヒロインが登場します。恋に生きた彼女たちの偉い人生を歌った曲をお聴きください。

ソプラノ：平野雅世 エレクトーン：神田将 作曲：ラ・ボエームより 私の名はミミ はか

Vol.3 名作オペラ ここだけの話 ～ラ・ボエーム～

9月20日(月・祝) 開演14:00

オペラ指揮者マッキーこと牧村邦彦がオペラ『ラ・ボエーム』をわかりやすく解説。NISSAY OPERA版では聴けない原語でのハイライトもお楽しみください。お話：牧村邦彦 ソプラノ：平野雅世 テノール：松本薫平 ピアノ：栗川夏子

歌と演奏
あり

W S U 195-123 51589 516N * については裏紙をご覧ください

●最新の公演情報はフェニーチェ劇場HPをご覧ください ●都合により、曲目・公演内容が変更になる場合がございます ●観覧券は10月16日現在

チケットを購入する



シエナ・ウインド・オーケストラ 《プラスの祭典2021》 指揮者 佐渡裕 インタビュー



©Takashi Iijima

1997年の初指揮以来、特別な関係が続いている佐渡裕とシエナ・ウインド・オーケストラ。
10月2日(土)のフェニーチェ堺公演に向けて、お話をうかがいました。

Q. 国内屈指の吹奏楽団シエナ・ウインド・オーケストラの圧倒的な演奏はとでもよく知られていますが、佐渡さんから見たシエナの魅力は?

シエナの魅力はまず圧倒的な演奏技術を持っているということ。僕は首席指揮者に就任する前からもう25年近く指揮していますが、僕自身がシエナのレベルを上げることには貢献出来たとも思いますが、彼らも一人一人がやるべき努力を怠らずに進化し続けてくれたと思うのでとても誇らしく思います。もう一つはチームワーク。全員が「シエナ」というエンブレムを胸に掲げて舞台上立ち、いつも音楽に正面から向き合い、全力で演奏する姿勢が出来ている。これは例外プロのオーケストラとしては難いことなので、シエナにはいつもアマチュアのように、いやそれ以上にがむしゃらに音楽に取り組むことを希望し、彼らもそれに応えてきてくれました。日本の吹奏楽の価値観を変え、楽器を演奏することは誇らしく、面白んだ、そういう価値観を一緒に広げてきた自負があります。

Q. アルフレッド・リード「アルメニアン・ダンス」全曲と、バーンズ「交響曲第3番」。どちらも大作ですが、選曲をされた理由は?

まず「アルメニアン・ダンス」ですが、これはなんともって今年吹奏楽の父と言われるアルフレッド・リードの生誕100年を祝って決めました。僕とシエナもこれまで数え切れないくらい作品を演奏し、録音もしてきましたが、なかでもこの「アルメニアン・ダンス」は吹奏楽ファンなら1度は演奏しているような超名曲です。リードさんが来日した際、シエナと僕の演奏会を聴きに来てくれて「生涯で最も素晴らしい演奏」と賛辞をいただいた思い出の曲として選曲しました。一方バーンズの「交響曲第3番」は、作曲家本人がシエナを指揮して録音も果たしていますが、なぜか僕とシエナでは一度も演奏していませんでした。40分を超え

るこの作品は非常に高い演奏技術が必要で、我々もかなり負合を入れて新たに挑むことになります。これまで繰り返し演奏してきた名曲と、今回初挑戦の名曲。どちらもシエナの魅力が十二分に発揮されると思っています。

Q. 今回の公演のポイントは? ファンにはおなじみのアンコールの形が今回は少し変わるとも聞いていますか。

バーンズの「交響曲第3番」は、バーンズが自身の娘を亡くしてしまっ後に書かれた曲です。本当に、深い悲しみと辛い叫びがある1楽章から始まり、天国の娘に歌う子守歌のような3楽章。そして、打ちひしがれているのではなく、娘のためにも未来に向けて自分自身が力強く生きていこうと思える4楽章に続きます。昨年からコロナ禍で、生活や健康、仕事などみなさん大きな変化があり、それぞれがそれぞれの人生に向き合わせた時だったと思います。そうした中でも、間違いなく音楽は、お互いの苦しみを感じることが出来たり、それを乗り越えようという勇気をもたらしたり、心のビタミンを与えてくれる物だと僕は思っています。僕自身はコロナの期間を経て、音楽が人間にとって特別に必要なものだ改めて気づくことになりました。演奏会に行っても時間を一緒に共有する、感動する、拍手を逃さず、演奏で応える、そうした繋がりがとても重要だという思いが自分の中にもあります。まあ指揮も全く出来ずずっとステイホームをしていましたから、結果シンプルに速く指揮したい、音楽がしたいと思いました。シエナのメンバーもそれは同じだと思います。みんなまた音楽と一緒に作りたいという強い思いと、それを皆さんに聞いていただけることの感謝をもって、シエナと僕の全力投球の演奏をお届けします。これまでのようにお客様にも楽器をお持ちいただいで、アンコールと一緒に舞台上で演奏するということはまだ出来ませんが、その分「巨匠のあの曲」の魅力にしっかりと耳を傾けていただけたらと思っています。

CLASSIC
大ホール

佐渡裕指揮 シエナ・ウインド・オーケストラ 《プラスの祭典2021》

10月2日(土) 開演15:00



©Takashi Iijima

吹奏楽部員の中生からクラシック愛好家の大人まで、幅広いファンを持つ「佐渡×シエナ」。
本公演では吹奏業界屈指の名曲として君臨するジェームズ・バーンズの超大作「交響曲第3番」がついに登場します。
【演奏予定曲目】 アルフレッド・リード:アルメニアン・ダンス(全曲)、ジェームズ・バーンズ:交響曲第3番

好評発売中 S席6,500円 A席5,500円 B席3,500円 主催:フェニーチェ堺 W S U E G CN + 198-953 52022 6 CN +

CLASSIC
大ホール

W S U E G CN +
197-797
52856

ディズニー・オン・クラシック まほうの夜の音楽会 2021 「ミステリアス&ダークスペシャル」

10月16日(土) 開演18:00



Production Licensed by Disney Concerts ©Disney

ディズニー・アニメーションや映画・テーマパークの音楽を、オーケストラとヴォーカリストの生演奏でお届けする、大人のための演奏会。今年も「Music Forever〜永遠に続く愛〜」をテーマに、「リメンパ〜ミー」をフィーチャー!プログラムの一部を個性豊かな悪役やスリリングなテーマパークの音楽にフォーカスした、「ミステリアス&ダークスペシャル」でお楽しみください。

好評発売中 S席6,900円 A席7,600円 B席6,300円 SS席12,000円 主催:読売テレビ放送・有線マナーマネジメントシステムズ 共賛:フェニーチェ堺

CLASSIC
文化交流室

音楽のあるひととき Vol.5 Duo VOCE! 響きあう二重奏の世界

11月17日(水) 開演14:00

大阪交響楽団のメンバーとお届けする気軽に楽しめる「1時間(ひととき)」。
たった2つの楽器が織りなす幻想的な二重奏の世界。

【曲目】モーツァルト:ヴァイオリンとヴィオラのための二重奏曲 K.423より第1楽章
ヨハン・ハルツォルゼン:ヘンデルの主題によるサラバードと変奏
ラヴェル:ヴァイオリンとチェロのためのソナタ ほか

【出演】伊藤凌紀(ヴァイオリン)、増山嶺子(チェロ)

チケット発売日:8月28日(土) 10:00 1,000円 主催:フェニーチェ堺(公社)大阪交響楽団

W S U E G CN +
199-487



CLASSIC
大ホール

ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団

中止

11月26日(金)に予定しておりました本公演は、未だに続いておられます新型コロナウイルス感染症及び新型コロナウイルス変異株急拡大の影響によって、日本への入国制限の緩和等が現時点で見送せないことから、大変残念ながら中止とさせていただきます。楽しみにされたお客様にはご迷惑をおかけしますが、事情ご察察の上、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

W S U E G CN + については裏表紙をご覧ください

●最新の公演情報はフェニーチェ堺HPをご覧ください ●都合により、曲目・公演内容に変更になる場合がございます ●観覧情報は10月16日現在

チケットを購入する



こがく
川口成彦 古楽なハナシ 第2回

今年フェニーチェ場で開催させて頂くサイタルシリーズ「Contemporaries-同時代人の肖像」は全3回の公演を通してシューベルト、ショパン、モーツァルトおよびそれぞれの「同時代人」の作品を取り上げます。最終回では我々の「同時代人」である杉山洋一さんの新曲初演も予定されており、大変楽しみです。

そして記念すべき第1回はシューベルトがテーマで、同時代人の作品からはツェルニーの夜想曲とブルグミュラーのピアノソナタを演奏します。この「ブルグミュラー」はピアノ学習者にはお馴染みのヨハン・ブルグミュラーの弟で、ショパンと同じ年にデュッセルドルフで生まれたノルベルト・ブルグミュラー(1810-1836)です。てんかん発作による瀕死で26歳で夭逝した彼の才能は当時の音楽界において大変注目すべきもので、また、シューマンは「31歳でこの世を去ったシューベルトの後に、ブルグミュラーの早世ほど悲しいことはない」と語っています。16歳という若さで書かれたへ短調のピアノソナタはまさに彼の才能を今に伝える作品であると同時に、シューベルトが生きていた時代のピアノ作品の知らざる傑作だと考えられます。

そしてシューベルトと同時代に生まれたツェルニー(1791-1857)もピアノ学習者にとっては耳慣れたお名前かもしれませんが、練習曲だけでなく素晴らしい作品を沢山残して

フォルテピアノ奏者・川口成彦がひとく
ピアノの温故知新(昔の事をたずねて新しい知識や見解を得ること)。
古くて新しい「古楽」の世界にお連れします。

います。シューベルトの早い死から数年後の1830年代前半に書かれたと思われる夜想曲を2曲演奏します。美しい秘曲たちと共にシューベルトの時代に皆様と想いを馳せると楽しみにしています!!



第1回: グレーバー (1820年)



第2回: フライエヒル (1846年)

【川口成彦プロフィール】

第2回: フライエヒル国際ピアノコンクール第2位、ブルージュ国際古楽コンクール最高位。フンテンジウ五月音楽祭、モントペルティ音楽祭はじめる音楽祭にも出演を重ねる。協奏曲は18世紀オーケストラ、Iohannes Orchestra Historicznaなどと共演。東京藝術大学/アムステルダム音楽院の古楽科修士課程修了。第46回日本ソシエ協会賞受賞。第31回日本製楽器音楽賞フレッシュアーティスト賞受賞。



©Fumika Sato

CLASSIC
小ホール

**川口成彦フォルテピアノリサイタルシリーズ2021
Contemporaries - 同時代人の肖像 -**

第1回 シューベルト & His Contemporaries
D 198-009
9月29日(水) 19:00開演 好評発売中

シューベルト: 12の高貴なワルツ集 D969
ピアノソナタ イ長調 D664 ほか
トークゲスト: 梅岡俊彦 (鍵盤楽器技術者)
使用楽器: グレーバー (1820年インスブルック)
楽器提供: 梅岡楽器サービス

第3回 モーツァルト & His Contemporaries
D 198-011
12月26日(日) 15:00開演 チケット発売日: 8月28日(土)

モーツァルト: ピアノソナタ イ長調 「トルコ行進曲付」 K.331 ほか
【スペシャルコーナー - works by OUR Contemporary!】
杉山洋一 委嘱新曲「フェニーチェ場委嘱作品世界初演」
トークゲスト: 杉山洋一 (作曲家・指揮者)

第2回 ショパン & His Contemporaries
D 198-010
10月2日(土) 15:00開演 好評発売中

ショパン: バラード第1番 ト短調 op.23
ピアノソナタ第2番「葬送」 変ロ短調 op.35 ほか
トークゲスト: 小味潤彦 (音楽評論家)
使用楽器: フライエヒル (1846年パリ)
楽器提供: フォルテピアノ / ヤマモトコレクション
一部の曲ではモダンピアノのアップリオリも使用

使用楽器: ワルター (1800年頃ウィーン) Paul McNulty 2002年作、
ドルクレン (1790年ミュンヘン)
Thomas&Barbara WOLF 1979年作
楽器提供: 梅岡楽器サービス

各回4,000円 主催: フェニーチェ場

伝統芸能
小ホール

**桐竹勘十郎 発意・監修
「ワカdeワカル
フェニーチェ文楽」**

10月19日(火) ①開演14:00 ②開演18:00
伊賀越道中双六 沼津の段



人間国宝・桐竹勘十郎



©高橋正典

親と子の情愛と切ない別れを描いた「伊賀越道中双六 沼津の段」。
浄瑠璃や歌舞伎などでも単独で上演される人気演目に、若手が挑みます!

【私が知る限り、文楽を観るのに、ここはナンバーワンのホールではないか、という気がします。】(「ペンと劇場」より)
江戸時代の文楽を描いて直木賞に輝いた作家・大島真寿美のため息をついたフェニーチェ小ホールで、ここだけの臨場感と迫力に浸ってください。

好評発売中 3,000円 主催: フェニーチェ場 制作協力: (一社)日本の伝統芸能
協力: 関西音楽株式会社 助成: 一般財団法人地域創造

W S U E G CN + 506-494 52893

この秋、上方落語と江戸落語の実力者が堺に集結。

伝統芸能
小ホール

**桂かい枝
独演会**

※2021年1月14日(木)
新巻公演

10月24日(日) 開演15:00

関西な落語で心晴れ好吧!

上方落語の人気者が満を持してフェニーチェ場へ。
【子は越(かすがい)】ほか、計3席。
話題の英語落語も披露します。



好評発売中 3,000円

W S U E G CN + 506-720 54093 主催: フェニーチェ場

伝統芸能
小ホール

**桃月庵白濁
独演会**

11月26日(金) 開演15:00

江戸と現代を巧みにつなぐ

端正な語り口と切れ味に中毒者が続出。初心者から通までうならせる白濁落語で、洗練された笑いを一席献上いたします。

【動画配信あり(有料)】
詳細はホームページにて



チケット発売日: 8月28日(土) 4,000円

W S U E G CN + 508-007 55409 主催: フェニーチェ場

伝統芸能
小ホール

**三遊亭兼好
独演会**

11月28日(日) 開演14:00

古典落語の妙手がふたたび堺へ!

一度聞いたらくせになる――。
人気・実力を兼ね備えた名人が密着を爆発の渦へ、笑いの気配たっぷりな兼好の世界へようこそ。



チケット発売日: 8月28日(土) 4,000円

W S U E G CN + 508-008 55410 主催: フェニーチェ場

伝統芸能
小ホール

**春風亭一之輔
独演会**

11月29日(月) 開演15:00

今もっとも席がとれない落語家

一之輔を睥で開けるシアワセ。待ち望む声に押され、今年も独演会の開催が決定! 江戸落語のど真ん中を堪能してください。

【動画配信あり(有料)】
詳細はホームページにて



チケット発売日: 8月28日(土) 4,000円

W S U E G CN + 508-009 55411 主催: フェニーチェ場

W S U E G CN + については裏表紙をご覧ください

●最新の公演情報はフェニーチェ場HPをご覧ください ●都合により、曲目・公演内容が変更になる場合がございます ●観覧券は8月16日現在

チケットを購入する



息をのむミステリーミュージカルか、切ない愛の謎解きオペラか。

MUSICAL 大ホール ミュージカル「ジャック・ザ・リッパー」

10月8日(金) 開演14:00
9日(土) ①開演12:30 ②開演17:00
10日(日) 開演12:30



雄大なミュージカルナンバーと緻密なストーリー展開。
韓国で観客を虜にしたミステリーミュージカルが、ついに日本版で初上演!
<キャスト> ダニエル(Wキャスト):木村達成/小野賢章
アンダーソン(Wキャスト):加藤和樹/松下優也
ジャック(Wキャスト):加藤和樹/堂珍嘉邦
クローリア:May'n ボーリー:エアランナ モーロー:田代万里生

好評発売中 S席13,500円 A席9,000円 フェニーチェシアター18,500円(1階席7~14列目(中通路席)、ハンフレット付)
主催:キョードー・マシジントシステムズ、フェニーチェ劇場

OPERA × ORCHESTRA 大ホール il Teatro L'alba L'amore “オペラ×オーケストラ”

10月19日(日) 開演14:00



堺を拠点に活動するオペラとオーケストラが手を取り合い
フェニーチェ劇場からお贈りする舞台。いま、堺が共鳴する!
プッチーニ:歌劇「トゥーランドット」【セミ ステージ形式】
指揮:柴田真都 出演:堺シティオペラ 管弦楽:大阪交響楽団
<キャスト> トゥーランドット:並河寿美 カラフ:苗田博昭 リオ:高橋絵理 ほか

好評発売中 SS席8,000円 S席5,000円 A席3,000円
主催:堺シティオペラ(一社)、(公社)大阪交響楽団 共催:フェニーチェ劇場

JAZZ 大ホール 扶間美帆m_unit 日本ツアー-2021

9月17日(金) 開演19:00



グラミー賞ノミネートで一躍メジャーへ

ジャズの聖地ニューヨークを拠点に世界中を飛び回る扶間美帆。
クラシック生まれジャズ育ちの音楽性で、ジャンルを超越した活躍に注目が集まる。
13人編成のジャズ室内楽団ならではの華やかで多層的な音色の重なりに聴き入ってください。

【扶間美帆m_unit】扶間美帆(cond)、土井徳浩(a.sax)、井原良治(t.sax)、竹村直哉(b.sax)、真砂陽地(tp)、林育宏(t.hr)、マレー飛鳥(vn)、沖増菜摘(vn)、吉田篤貴(va)、島津由美(vc)、香取良彦(ph)、佐藤浩一(pf)、須川崇志(ba)、伊吹文雄(dr)

好評発売中 S席5,000円 A席4,000円 主催:フェニーチェ劇場 制作:協力ジャムライズ 後援:FM COCOLO/FM802

フェニーチェ劇場 大スタジアム

ワークショップ ゴスペルに挑戦! 2021

9月16日(木)・23日(木・祝)・30日(木) / 10月7日(木)・14日(木) / 11月4日(木)・11日(木) 各回開演19:00
フェニーチェ劇場クリスマスイベント11月23日(火・祝)にて発表

手をとりたいステップを踏んだりしながら全身全霊で歌うゴスペル。ゴスペルシンガーのソウルフルな歌声をリピートするレッスン方法で、発声方法から丁寧に指導。初心者の方でも安心してご参加いただけます。 講師:田邊裕子(フェリスコスベルスクール)

申込終了 6,000円(レッスン費+イベント参加費) 主催:フェニーチェ劇場

フェニーチェ劇場 多目的室

音楽サロンⅢ〜堺とお酒と大作曲家!!〜

9月18日(土) 開演15:00

大作曲家にはお酒好きがたくさん。彼らのエピソードと名曲に耳を傾けつつ、かつて酒蔵が100軒近くもあった堺のお話をツミミに添えて、土曜日の午後はゆったりと楽しみませんか?

出演:吉川智明、村上聡(ヴァイオリン)、原真奈美(ピアノ)、川上浩
曲目:モーツァルト:ヴァイオリンソナタK.378 リスト:愛の夢 ほか

申込受付中 1,000円 定員:70名 主催:フェニーチェ劇場 協力:FM大坂くらこ文化会



村上聡

フェニーチェ劇場 大スタジアム

秋から始める演技入門〜楽しい嘘のつき方講座〜(全5回)

10月9日(土)・16日(土) / 11月13日(土)・23日(火・祝) / 12月4日(土) 各回開演14:00

「楽しく嘘をつく」をテーマに、5回のワークショップを通してウソの面白さ、ウソをつかないことの価値に向き合っていきます。全公演技をしたことのない人も、スキルアップしたい演劇経験者も是非ご参加ください!!

講師:藤井楓太郎(俳優・作家・演出家)

申込受付中(9/7より先着順) 一般5,000円 中学生3,000円 定員:20名 主催:フェニーチェ劇場



藤井楓太郎

フェニーチェ劇場 大ホール

ホール体験会

無料

【A】9月10日(金) 【B】12月27日(月) 【C】3月10日(木)
各日 ①11:00 ②13:00 ③15:00

ホールの「オモテ」と「ウラ」をまるごと体験!
ピアニストになりきりタイムでは出演者気分です弾いてもよし、撮影してもよし
演出のヒミツや舞台のウラガワも見せちゃいます。

【申込期間】【A】7月26日(月)〜8月20日(金) ※B、Cはホームページをご覧ください
【申込方法】ホームページをご覧ください。 ※小学生以下は必ず保護者と一緒に参加

申込受付中 主催:フェニーチェ劇場



竹

ふれる堺。



『竹芸発祥の地・堺』から工芸師・現代アート作家として国内そして世界に発信し続ける四代田辺竹雲斎。

繊細でしなやかな作品とサスティナブル(持続可能)な制作活動について伺いました。

Q. 竹芸の魅力は？

まず竹は素材としてとても美しいです。凛として、真っすぐで力強く、風に吹かれても折れないでいる。四季により色が変わりますが年中青い。世界に竹はありますが、日本の竹は繊細で細や。日本人の美意識の象徴だと思えます。その魅力的な素材に人手が入り、自然に寄り添っていくのが、自然の恵みで作られている美しさがあると思います。



Q. 活動拠点として堺の地に留まる理由は？



初代が竹芸の発祥・生産の中心地の堺に工房を構えたが当時堺は与謝野忠子をはじめ多くの文人が住む文化都市で、文人思考のあつた初代は豊かな文化の中で竹芸を作っていました。この誇りを持ち、堺産から輸出もしていた、工房の建て直し時に、大きなスベエがとれる郊外より都会に近いことも考えましたが海外に面白い工房があると聞く、遠くへも足を運ぶように、堺の地味魅力的な工房を作ること出来れば、世界から堺に人が集まってくる。養育の地で、堺界から堺に至ります。

世界各地で展覧会をされていますが、

Q. 海外で竹雲斎さんのアート作品はどのように受け止められていますか？

2017年フジのサンウーのJapan Houseでインスタレーションの展示をした際、初日千人の方が並んで、15分もの方が来場しました。また2017年のアメリカ、NYのメトロポリタン美術館の展覧会には50人もの観客がありました。竹という素材に魅力を感じてもらえたこと、また、その素材の持つ静かな性質を、自然素材を入手だけで編み出した作品を、アート作品として意外に受け取ってもらったこと、そして、アート表現として、それが現代表現として、それが琴線に触れられたらいいな。



数学者とコラボレーションをし、世界一美しいといわれる数式を立体化した作品。

Q. 竹雲斎の歴史と歴代の作風は？

竹芸は江戸中期に中国から輸入された大作品が堺で大流行し、中国作品の写しを作ることから始まりました。堺で発祥した工芸です。初代竹雲斎は、尼崎産の御典染の三男として生まれましたが、自宅近く竹細工を営む秀あって、幼少のころから味を持ち、12歳で当時日本の名工と言われ初代和田和彦に弟子入り、24歳で竹雲斎の号を与えられ独立したのが始まりです。初代竹雲斎が竹雲斎の屋号を再啓を構え、今年でちょうど120年になります。初代竹雲斎は、産物と言われる中国に影響を受けた竹芸を得意とし、重厚な作品を制作しました。二代竹雲斎は、中国趣味を脱却し、和物と言われる日本の作品(漆や細工)を多く制作しました。中国の竹芸はテラコッタですが、和物は、繊細で細やか、無駄がなく光と影が美しく見えます。その他も荒編みなど、うさぐさとした編み方で、詫びびびを表現するなど、革新的な作品も作りました。三代竹雲斎は、オジエなどデザイン性の高いものを竹で作る、代々制作する工芸と共に時代には、伝統性・個性の高く作品も多く生まれています。我が家には、伝統的挑戦者という役割があります。根底受け継ぐ技術精神がありながら、時代に合した革新を行わなければならないというです。私は、現代受け継ぐ作品を作りながら、記憶に残すアートにテーマとして大きなインスタレーション作品を制作し、異なるスタイルの方もコラボレーションを行っています。

※インスタレーション 現代美術における表現手法-ジャンルの一つ。ある特定の室内や屋外などにオブジェや装置を置いて、作家の意向に沿って空間を構成し変化・異化する。場所や空間全体を作品として体験させる芸術。

Q. 素材となる竹について教えてください

竹は世界に1200種類、日本には600〜800種類ある。私は20種類使っています。1つのインスタレーション作品で、3万〜4万本の竹を使います。英大な量を使うように思われますが、アートは再利用をテーマに活動して、再、中期が終了するほど、竹は再利用し、持っています。再利用します。1割は傷むので取替え、新しい竹を1割足して循環させています。人間の体と同じで新陳代謝をさせている感覚です。それはもう発展ですが、竹林再生ということも考え活動しています。良質の竹は人が手入れしないと育たない植物ですが、需要の減少と仕事がついていけません。竹林の維持が難しくなっています。そこで、今後インスタレーションの制作の一部を竹林再生のために、アートの人と相談しながら、竹林再生アートの一環として活動するプロジェクトを立ち上げる計画を考えています。



Q. 今後の目標と夢は？

竹雲斎は初代から今年で120年ですが30年続くシステムを作り、今と似て、そして柱としてのシラロを考へています。代々竹芸を扱っている家は今は私の家しかなく、も途絶えたと技術もなくなっています。そのため夢を育む工房システムを構築し、若い世代を20人にし、その弟子が世に出ることで、竹芸に携わる人口を増やしていきたいと考えています。竹の需要を増えたい竹林を安定させるので、需要を伸ばす話もしたいです。竹林の再生プロジェクトも引き続き行っていました。昨今現代アートには非常に需要がありますが、工芸品がなかなか販路にくく、そして、その間に差ができてしまっていると思います。今後工芸品も日本でも世界でも注目してもらいたい。今、竹芸(総合芸術)として発信していただきたいと考えています。作品としては、現在100の作品を作っています。30年として1000の作品を作るため、ハート大学で構造設計の教鞭をみる員、島佐和子さんとコラボレーション。

プロフィール

1973年堺市生まれ。東京藝術大学美術学部彫刻科卒業後、父である三代田辺竹雲斎に師事。2017年四代田辺竹雲斎襲名。展示の技術を受け継いだ作品の制作を続けながら、竹によるインスタレーションや現代的なオブジェ制作。2001年フラワーズ美術館クラフトショーを皮切りに、ポスト-美術館、大塚美術館、フランス国立ギメ東洋美術館、メトロポリタン美術館で展覧会を開催し世界に活躍の場を広げている。

展覧・イベント情報

【展覧】7月7日〜10月17日 四代田辺竹雲斎個展 つながり循環 - 会場: 夢工房京都店 (入場無料) 【高山】9月10日〜10月24日 北陸工芸の祭典 GO FOR KOGEI2021 会場: 重要文化財 勝興寺 ★竹のインスタレーション展示 【京都】9月18日〜10月17日 KYOTOGRAPHIE 京都国際写真展2021 会場: 世界遺産 二条城 ★竹のインスタレーション展示